



Newsletter 14

ニュースレター Vol.14 2012年7月21日発行

小網代梅雨明けです。真夏、2012年カニパトの季節が、始まります。

今年前半。谷の作業は、水系の整備に加え、防火帯の設置が大課題となりました。下流大草原は、北側の縁全幅にそって幅5mの帯状にヤブを刈り上げ、防火帯の設置終了。これで秋には、安心して、北から伸びるくから谷：仮称>の保水力活用のための水路整備に入ることができます。

緑化推進運動功労者内閣総理大臣賞受賞にかかわる出来事も、特筆しておかなければいけません。6月17日（金）、シーボニアのホールで、受賞報告会開催。6月25日には、小網代野外活動調整会議の歴史とビジョンを紹介する『奇跡の自然：三浦半島小網代の谷を流域思考で守る』（岸：八坂書房）が、記念出版されました。

そしてなによりの特筆事項は、第3回こども小網代ボランティア（ここぼら）開催。3月、6月は天候にめぐまれず中止となりましたが、7月1日、関係諸団体、行政等、フルメンバーの応援をうけ、無事、賑やかに開催することができました。

地球環境基金、かながわトラストみどり財団からの支援も確定。万全の体制で、まずは恒例のカニパトから、2012年、後半に入ります。ご支援、ご参加、よろしくおねがいたします。

岸 由二

TOPICS

- 6月17日（土）トラスト支援会員対象干潟観察会は残念ながら雨天中止になりました。
- 6月17日（金）緑化推進運動功労者内閣総理大臣賞受賞報告会を実施しました。
- 7月1日（日）第3回こども小網代ボランティアを開催しました。
- 7月2日（月）地球環境基金の交付が正式に決定しました。（活動名：小網代河口干潟の生物多様性保全ビジョン作成と地域連携ボランティア実践）



伐開により眺望のひらけた
大エノキ広場

定例管理作業報告

原則として毎月第3日曜日に実施しています。(人数は生物調査チームも含む)

☆4月15日(25名)

- A班: 津波避難路の延伸(刈払機使用)
- B班: 浦の川中流域岸辺の笹・蔓等伐開及び水穴処理
- C班: 旧棚田からの流出路の草刈と流出止め作業

☆5月20日(28名)

- A班: 高橋別荘避難路・作業用通路等伐開(刈払機・チェーンソー使用)
- B班: 河口の石橋護岸杭打ち・真ん中広場堰の補修杭打ち
- C班: 大エノキ広場の上手湿地北側山裾の伐開(刈払機使用)

☆6月17日(30名)

- A班: 真ん中広場上手の堰補修作業
- B班: 大エノキ広場の上手湿地北側山裾の伐開(刈払機使用)

☆7月15日(23名)

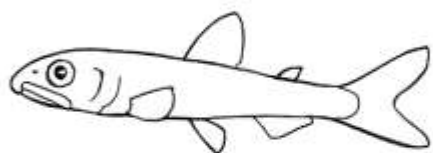
- A班: 資材搬入、管理倉庫・資材の整理・メンテナンス
- B班: 北尾根通路の草刈り(刈払機使用)
- C班: 大エノキ広場の上手湿地北側山裾の伐開(刈払機使用)
- D班: 真ん中広場流路の整備



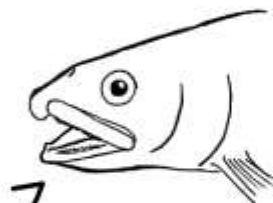
浦の川生きものの通信

報告
江良弘光

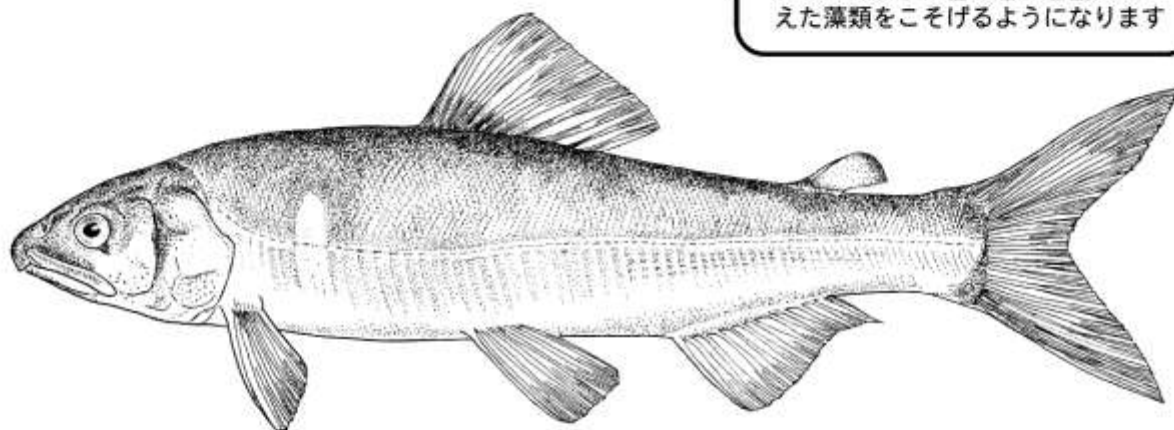
<今年も浦の川にアユが来ました！>



体長6~7cmの若鮎が
群れで確認されました。



動物食から植物食に切り替わると
ヤスリのような歯で岩や岩盤に生
えた藻類をこそげるようになります



こういう立派なアユの成魚に
来年は出会えるでしょうか

2012年5月20日の水系調査で今年も一本橋付近でアユが確認されました。アユが一本橋までのほるのは昨年に続き2年連続です。

アユが本流を上ることには大きな意味があります。というのも河口部の段差までならほぼ毎年アユが確認されていましたが、それらのアユは川を上ることはありませんでした。

アユは幼い頃は動物食なのですが、川を上る頃に川底の藻類をこそげて食べる植物食になります。ですから、東京湾や相模湾で育ったアユたちは川を目指して様々な川の河口部に集まります。ですが、以前の浦の川は暗く日照が川底に届かないため、藻類が生長できず、せっかく河口部までやってきた若鮎たちも、川の水に藻類の匂いがしないため川をのぼることなく消えて行ってしまったのです。

そんなアユたちが浦の川のほぼ中流にあたる一本橋まで遡上している、これはここ数年行わ

れている日照回復作業の結果がはっきり出ているという証拠になるので。暗黒河川の頃から調査をしているものとしては感慨一塩のものがあります。

さて、そんなうれしいアユたちですが、実はその後の6、7月の調査では全く確認できていません。なぜなのか、と一本橋を網をもって一本橋付近をうろつくとその度に飛び去るカワセミとサギ類…どうも、この鳥たちにすっかり食べ尽くされているようなのです。水深の浅い浦の川の淵はイケスのように魚が捕りやすいのでしよう。トホホ。

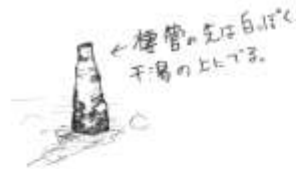
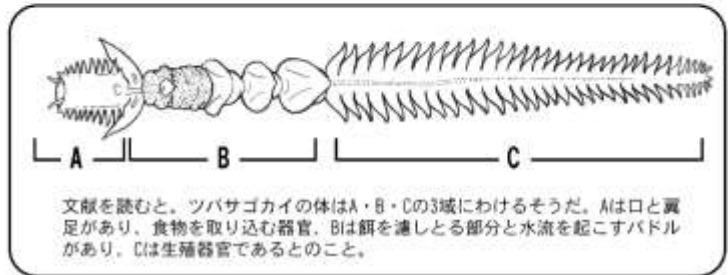
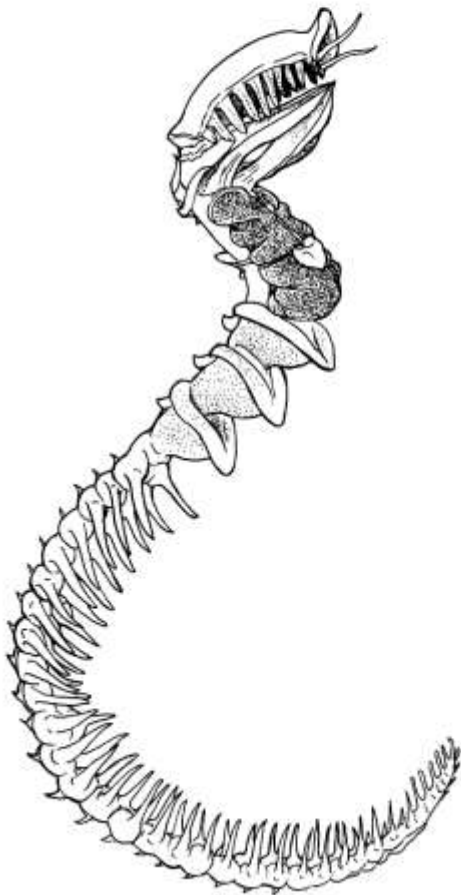
ですが、今後、浦の川の水量を増やす作業が計画されており、これがうまくゆけばアユが身を隠す場所も増えて行くことでしょう。かつて19cmほどの立派なアユが確認された記録もある浦の川、これからも目が離せません。

小網代の干潟にまつわる物語



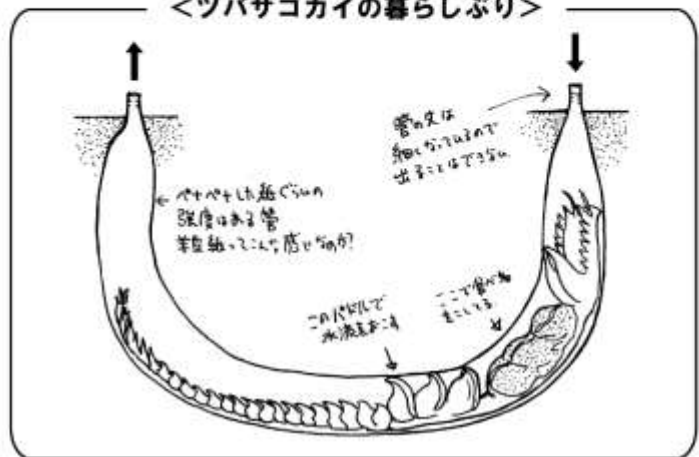
絵文 江良ヒロアキ

< ツバサゴカイ >



こんなのがいたらツバサゴカイがいる証拠。泥の中に下の図のように暮らしている。

< ツバサゴカイの暮らしぶり >



なんという不思議な姿の生物でしょう！こう見えてゴカイの仲間なのです。なんだか嚼みつかれたら大変な事になりそうに見えますが、なにしろ柔らかい生きもので、なめらかプリンくらいの固さ。豆腐よりは確実に柔らかいです。ですから、全く危険はありません。また、口の細い管の中で水流を起こして餌を取る暮らしをしていて、生涯管から出ることのない、究極の引きこもり生活を送っています。

体長が20cmほどあること、何より形のインパクトから、臨海実習などではおなじみです。ゴカイの中ではかなり有名な種類で、カーソンの「海辺」などにも紹介されています。また、分布も広く個体数も多いため、干潟の本などでも普通種として紹介されています。

ところが最近の研究では全国的に減少傾向にあり、とくに東京湾、相模湾周辺では希少種になりつつあることがわかっています。

幸い小網代湾では、減少はみられず、今年の調査でも確認されています。

干潟の幾分深い所を好むので、出会うのはなかなか大変で、春の大潮の時期、つまり年に数日しか合うチャンスはありません。

掘り出されたり鳥につつかれたりして危機を感じると発光します。光が連なりながらうねる姿はイルミネーションのようで美しいです。

この不思議で美しい生きものが今後も絶えることなく小網代で命をつなぐことを願ってやみません。



第3回こども小網代ボランティア・クリーンアップのご報告

小網代保全ならびに活用に、地元の子どもたち、各地の小網代ファンの子どもたちの参加を促すことを主旨として、2012年初夏の子ども小網代ボランティア（ココボラ）イベントを開催しました。

参加者 39名。スカベンジ事業と合同企画にしてくださった三浦市に感謝です。

★日時：2012年7月1日（日） 曇り

- ・ 9：45 白髭神社前 または9：00 三崎口駅改札集合
- ・ 12：30 解 散

★企画内容

- ・ 9：30 受付開始 ・ 9：45 主催者・共催者挨拶
- ・ 10：00 スタッフの案内で干潟の滞にそって自然観察しながら移動。簡単なクリーンアップ。
その後、弁慶橋までのぼり、整備状況を確認。
- ・ 11：30 お楽しみ水族館 小網代干潟のカニを中心に、野外水族館形式で紹介。
- ・ 12：30 大蔵緑地で終了式

★ 主催：NPO 法人小網代野外活動調整会議

★ 共催：三浦市

★ 後援：神奈川県 （財）かながわトラストみどり財団 小網代区 みうら漁業協同組合
（株）リビエラリゾート （株）京急油壺マリンパーク 京浜急行電鉄（株）



緑化推進運動功労者内閣総理大臣賞受賞報告会

6月17日(日)シーボニア・クラブハウスにて報告会を開催しました。

参加者は25名。何人かの参加者は定例作業を終えて会場に直行です。場所はシーボニア最奥のクラブハウス。泥で汚れた格好で入るのがためられるくらいの素敵な空間でした。窓からは小網代湾をいつも見ているのとは反対向きに眺めます。プールがあって、湾はきらきら。とても心穏やかになります。シーボニアの社長様からは生花のプレゼントもあり、とても華やかになりました。式は柳瀬博一さんの司会で進行し、岸代表を始め出席の皆さんから一言ずつのスピーチをいただきました。小網代保全に関わって四半世紀以上の人から数ヶ月の人まで様々でしたが、一人一人の、この小網代に対する「思い」や「気持ち」が率直にとてもよく分かりました。岸代表からは、今までの小網代保全にご尽力をいただいたお一人一人への感謝のお言葉がありました。

調整会議としてこのようにみんなで受賞をお祝いでき、喜びと歴史をしっかりと共有できたが何よりも嬉しかったです。

御支援、御理解をいただいているシーボニア、京急をはじめとする企業の皆様方、また、今回の受賞(そして小網代の保全に)に向けて様々な形で支えていただいた神奈川県、三浦市をはじめとする行政の職員の皆様方、本当にありがとうございました。私たち調整会議のメンバーは、暑い日も寒い日も第三日曜日には小網代のお世話という名の土木作業をこれからも続けていきます。今後とも御支援をよろしく願いいたします。

(築瀬公成)



『奇跡の自然』 出版のご案内



小網代の保全の道のりを1冊の本にまとめた『奇跡の自然 三浦半島 小網代の谷を「流域思考」で守る』(岸 由二著 八坂書房)が6月発売されました。1980年初頭、ゴルフ場建設を軸とした都市開発計画地として、偶然にも源流から河口干潟までの流域すべてが自然に戻っていた小網代の谷。この自然を「再発見」して以来、地権者、地元市民、行政と粘り強く対話を続け、自然保全型の都市開発の対案を提示し、地道な活動を続けた結果、2010年神奈川県が70ヘクタールを買い上げて保全が確定するまでの道のりを、岸さんがさまざまな機会に講演した議事録を辻晴一さんがまとめた原稿をもとに1冊にまとめたものです。2011年秋、慶応大日吉で行われた岸さんと養老孟司さんとの対談も収録、さらにはカラー16ページで小網代の自然を余すところなく紹介しました。小網代の保全の歴史と小網代野外活動調整会議の活動の歴史をまとめたのはこれが初めて。アカテガニの放仔活動の特性を明らか

にした論文も掲載しております。小網代野外活動調整会議の活動は、この春、緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受け、改めて全国区で知られることとなりました。今後、小網代の活動を紹介する上で、ぜひ本書をご利用いただければと思います。すでに全国書店で発売しておりますが、Amazon、楽天ブックスなどネット書店での注文が手に入りやすいかと思います。ぜひ、周囲にも宣伝くださいませ。
(柳瀬 博一)

カニパト2012のお知らせ

今年もアカテガニのお母さんたちが安心してお産（放仔）できるように、パトロール活動（通称カニパト）を実施します。

I 期:7 月 22 日(日) 開始時刻 17:55

II 期:8 月 4 日(土)・5 日(日) 17:40

III 期:8 月 18 日(土)・19 日(日) 17:25

IV 期:8 月 31 日(金)・9 月 1 日(土) 17:10



- ・ 上記の期日午後17時～、小網代湾の最奥・アカテガニ広場で実施します。ご来訪のみなさまに観察方法・マナーの説明をし、観察場所へご案内します。(日没時刻により観察時間が変わります。上記の開始時刻までにアカテガニ広場にお越しください。なお観察終了は20時頃の予定です。途中からの参加、途中での退出はご遠慮ください。)
- ・ 個人のご来訪の場合は申込み不要ですが、大人数(6名以上)・団体でご来訪の場合は事前にNPO法人小網代野外活動調整会議まで連絡をお願いします。
- ・ 当日荒天により、観察が中止になる場合もあります。ご了承ください。中止決定次第、NPO法人小網代野外活動調整会議ホームページに中止を掲載します。<http://www.koajiro.org/>
- ・ 懐中電灯、海水にぬれてもよい足まわりをお願いします。(長靴が最適、サンダルは危険)
- ・ 地元の方に迷惑をかけるような行為は避けましょう。
- ・ 森の中にトイレはありません。
- ・ 小網代の森の保全区域は現在神奈川県により整備中で、通行の自粛が要請されています。特に夏の時期は森の中(中央の谷)は藪が深く、危険です。マムシ、スズメバチもいます。通行はご遠慮ください。
- ・ このカニパト活動は、NPO法人小網代野外活動調整会議(TEL:045-540-8320)が神奈川県自然環境保全課・(公財)かながわトラストみどり財団と連携して、実施します。



2012 年度前半の森の活用・活動実績

- ・ トラスト緑地保全支援事業

4月15日(25名)、5月20日(28名)、6月17日(30名)、7月15日(23名)

2012 年度前半の小網代の森の主な利用実績

- ・ NPO法人小網代野外活動調整会議環境教育支援学校・団体(参加者数+スタッフ数)

5月25日 横須賀学院中学校(111名+10名)

5月26日 神奈川学園中学校(184名+12名)

6月29日 横浜市立新橋小学校(111名+6名)

7月11日 高津養護学校(69名+6名)

- ・ 上記以外の案内、および、独自の観察会等

6月23日 小網代の森と干潟を守る会定例観察会共催(31名)

7月1日 第3回こども小網代ボランティア(39名)

- ・ 小網代学習ボランティアウォーク

4月15日(27名)、5月20日(5名)、6月17日(雨天中止、但し3名対応)



事務局より

- ◆ 毎月第3日曜日を定例活動日とします。事前に参加登録をお願いします。

定例管理作業 (10時三崎口集合、16時現地解散)	2012年 7月15日、9月16日 雨天実行 軍手・食料・長靴持参 雷警報発令時には中止あり
カニパトロール(15時30分三崎口集合、 20時30分現地解散、プレのみ14時)	2012年7月21日プレカニパト(スタッフ研修) 第1期:7/22 第2期8/4,5 第3期:8/18,19 第4期:8/31,9/1

- ◆ 小網代学習ボランティアウォークは7月から9月の間はお休みします。

- ◆ 第4回こども小網代ボランティアは10月に実施の予定です。詳細は次号およびホームページに掲載します。

- ◆ 今年度もトラスト緑地保全支援事業として(公財)かながわトラストみどり財団より交付金をいただいています。皆様のトラスト緑地保全支援会員加入、トラスト緑地指定寄付が私たちの活動を支えます。

- ◆ **小網代応援団にご登録ください!**

小網代を指定してくださるトラスト緑地保全支援会員の皆さんの自己申告を受け、調整会議と日常的に交流していただける小網代応援団の組織化を目指しています。小網代の森緑地の保全に協力していただけるトラスト緑地保全支援会員1000名、応援団300名を目指します。小網代を指定して下さっているトラスト緑地保全支援会員であればどなたでも登録できます。当事務局あて応援団登録申請お待ちしております。事務局より、特別自然観察会(年2回実施予定)などのお知らせをさせていただきます。くわしくは事務局まで。

特定非営利活動法人小網代野外活動調整会議

連絡事務所 〒223-0053 神奈川県横浜市港北区綱島西2-5-10 コーリン綱島4F

TEL 045-540-8320 FAX 045-546-4344

ホームページURL=<http://www.koajiro.org/> E-mail: koajiro@koajiro.org

会費・寄付金払込先:郵便振替口座 00240-1-95307 特定非営利活動法人小網代野外活動調整会議